

平成 26 年度 同好会事業報告

体育 同好会 世話係名 浦野康彦 会長名 富沢 孝

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参 加 人 員
5 月 2 日	組 織 づ く り	26 名
7 月 28 日	体育実技講習会（午前） ・ 演題「正しい身体の使い方」 ・ 講師 関 賢 一 先生 （アスレチックトレーナー） 夏期講演会及び実技講習会（午後） ・ 演題「体育の授業づくりについて」 ・ 講師 佐藤厚彦学校長（小布施中） ・ 実技「アタックプレル」	午前 40 名 午後 19 名
7 月 31 日 ～ 8 月 1 日	第 55 回 体育学習研究会（合宿）参加 ・ 講師 岩田 靖 先生（信州大学教授）	5 名
10 月 22 日	実技指導者伝達講習 ① 実技「ベースボール型の実技指導法」 ・ 講師 浦野善之先生（相森中） ② 実技「ボールを使った運動、ウォームアップダンス」 ・ 講師 下田智美先生（須坂小）	2 名
10 月 31 日	長野県学校体育研究大会・木曽大会参加 ・ 日義小中学校 福島中学校 ・ 講師 岩田 靖 先生（信州大学教授）	1 名
2 月（予定）	講演会及びまとめの会 ・ 講師 堀込明紀学校長（常盤中）	名

本年度の体育同好会は、二十六名の会員で活動してきました。七月二十八日の夏期講習会では、アスレチックトレーナーの関賢一先生を講師にお迎えして、発達段階に応じた体力向上プログラム・ヒトとしての機能性の高い身体の使い方・運動習慣の獲得について研修を行いました。小布施中の運動部員をモデルにした具体的な解説は、一般も含めて四十名ほどの参加者に大変好評でした。小布施町の体づくり部会及び県教委スポーツ課の三者で提携して行った講習会は、幼児期から中学生期までの成長段階に応じた運動プログラムを開発・推進していく上で、新たな視点を示唆していただくものとなりました。午後は小布施中の佐藤厚彦校長先生から体育の授業づくりと題して、移り変わる長野県の体育研究の流れや、よい体育授業を行うための条件、教材・教具の工夫、さらにはマネジメントや教師の指導性について教えていた

だくなど、授業づくりの根幹を学びました。学習会のあとは教材化したネット型の運動を体験し、気持ちのよい汗を流しました。

教育課程研究協議会の午後の時間を利用して、実技伝達講習会を実施いたしました。相森中の浦野善之先生から柔道と陸上競技の取り扱いについて説明をしていただき、用具やルールを工夫したベースボール型の運動を体験しました。須坂小の下田智美先生からは、体ほぐし運動やボールを使った運動、曲に合わせたウォーミングアップダンスを紹介していただきながら全員で体験しました。いずれも私たちが授業を構想する中で、教材化した運動を子ども達の立場になって体験したり、新しい運動方法を知ったりすることの意味や必要性について改めて認識することができました。

体力の低下や運動への取り組みの二極化が依然として大きな課題となっています。体育同好会の活動を通して、運動の正しい理論や知識を学び、子ども達を夢中にさせる授業づくりについて研修を深めることは、課題を解決するためにも重要な役割を担っていると考えています。（会長 富沢 孝）